

平成28年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：生徒指導課
 担当名：総務・登校支援・中退防止担当
 内線：6906 (単位：千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業	
B45	課題を抱える生徒の自立を支援する共助プラン		一般会計	教育費	教育総務費	教育連絡調整費	非行防止対策費	
事業期間	平成26年度～平成30年度	根拠法令	子どもの貧困対策の推進に関する法律第10条		戦略項目	06 時代に応え未来を拓く人材育成		
					分野施策	020101 確かな学力と自立する力の育成		
1 事業の概要			5 事業説明					
<p>定時制高校に通う生徒には、不登校経験や家庭の経済的困窮などの様々な課題を抱えている者が見られ、心理や福祉の面からの支援が必要となっている。</p> <p>そのため、福祉や教育の現場で豊富な経験を積んだ方々やNPO、さらには地域の方々と学校が連携し、生徒に自立する力を身に付けさせ、中途退学を防止するとともに、ひいてはニート・フリーターの予防を図る。</p> <p>(1) 外部の力を活用した中途退学防止 事業費の節約による減額 △2,274千円</p> <p>(2) 生徒を学校へ導くための環境整備 国庫支出金の交付決定に伴う減額 △ 990千円</p>			<p>(1) 事業内容</p> <p>ア 外部の力を活用した中途退学防止 4,516千円 地元企業や商店と連携した自立のための体験活動や講座等の実施。 ソーシャルスキルトレーニングの実施により、生徒が安定した学校生活を送れるよう支援する。</p> <p>イ 生徒を学校へ導くための環境整備 25,923千円 スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラーを定時制高校に配置。</p> <p>(2) 事業計画</p> <p>ア 自立支援プログラムに向けた下地づくりのため、ソーシャルスキルトレーニングを実施。 イ 自立した生活を営む上で、経済的自立をする力を育むための就労体験を実施。 ウ スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーを活用して、生徒が円滑に自立支援プログラムに取り組めるよう、個人個人の課題に沿った支援を行う。</p> <p>(3) 事業効果</p> <p>ア 経済的自立、生活自立する力を獲得させ、中途退学の防止をするとともにニート・フリーターの防止につなげる。 イ 定時制高校の中途退学率を減少することができる。 平成24年度：11.8%→平成30年度：11.7%以下(目標) 定時制高校の中途退学率 平成24年度：11.8% 平成25年度：10.8% 平成26年度：10.3%</p> <p>(4) その他 スクールソーシャルワーカー 報酬：(時給) 1,800円 → 2,000円【平成28年度変更点】</p> <p>(5) 補正予算の概要</p> <p>ア 外部の力を活用した中途退学防止：事業費の節約による減額 イ 生徒を学校へ導くための環境整備：国庫支出金の交付決定に伴う減額</p>					
2 事業主体及び負担区分								
<p>(1) (県10/10)</p> <p>(2) (県2/3)(国1/3)</p>								
3 地方財政措置の状況								
なし								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員								
9,500千円×0.5人=4,750千円								
予算額		財 源 内 訳					一般財源	補正後の 予算額
決定額	△3,264	国庫支出金	△330				△2,934	27,175
現計額	30,439		8,640				21,799	